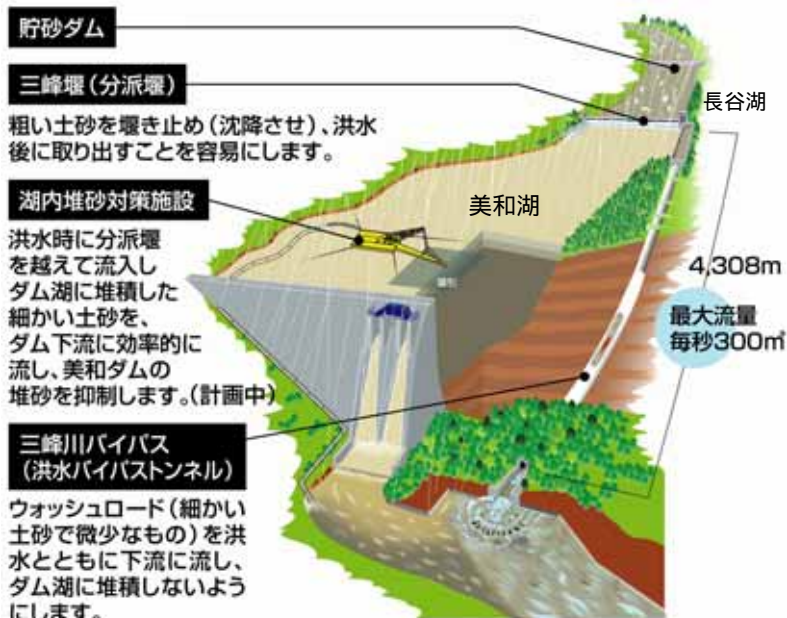


美和ダム再開発恒久堆砂対策事業の概要説明

天竜川の特徴は、水とともに多量の土砂が流出することにあります。支川の三峰川に位置する美和ダムでも昭和34年完成以降、平成14年までの間に約2千万 m^3 もの土砂が堆積しました。そのうち砂利採取により約500万 m^3 が掘削され、美和ダム再開発事業の掘削により約200万 m^3 を除去し、有効容量を保っています。

三峰川総合開発工事事務所では、美和ダムで全国の直轄ダムで初めての土砂流入を抑制する恒久堆砂対策に取り組んでおり、その中心となる三峰川バイパス及び三峰堰が平成17年5月に完成し、試験運用を行なっています。



美和ダムと三峰川バイパス吐口
(H19/9/7撮影)

モニタリング調査の必要性



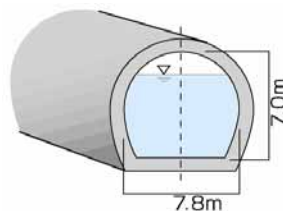
恒久堆砂対策施設によって得られるバイパス効果、掃流砂・浮遊砂の捕捉状況、下流河川環境への影響等を評価するためにモニタリング調査を実施しています。

【施設諸元】

美和ダム	形式……………重力式コンクリートダム
	堤高……………69.1m
	集水面積………311.1 km^2
貯砂ダム	全長……………144.4m
	高さ……………10.2m
	堆砂容量………20万 m^3
三峰堰	全長……………244.5m
	高さ……………20.5m
	堆砂容量………52万 m^3
三峰川バイパス	全長……………4,308m
	断面の形………馬蹄形
	断面の大きさ…7.8m
	最大流量………300 m^3/s



三峰堰と長谷湖 (H19/9/7撮影)



トンネル断面図



国土交通省 中部地方整備局 三峰川総合開発工事事務所

〒396-0402 長野県伊那市長谷溝口1527
TEL. 0265-98-2921 FAX. 0265-98-2890
mibuso@cbr.mlit.go.jp
<http://www.cbr.mlit.go.jp/mibuso/>